



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月13日

上場会社名 クルーズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2138 URL http://crooz.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小淵 宏二
 問合せ先責任者 (役職名) 経営戦略管掌取締役 (氏名) 稲垣 佑介 (TEL) 03-5786-7080
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	11,833	△25.3	431	△70.8	440	△70.3	220	△78.9
29年3月期第2四半期	15,848	33.9	1,475	107.0	1,485	102.8	1,043	248.2

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 217百万円(△79.1%) 29年3月期第2四半期 1,037百万円(247.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	18.29	17.19
29年3月期第2四半期	87.01	81.86

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	15,854	12,227	76.8
29年3月期	16,269	12,081	74.0

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 12,172百万円 29年3月期 12,042百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成30年度3月期の期末配当金は未定であります。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算定ができないことから記載しておりません。なお、当該理由などは、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 1社(社名) CROOZ TRAVELIST株式会社、除外 1社(社名) —
(注) 平成29年8月7日付けで株式会社トラベルオンラインから社名変更しております。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	12,917,100株	29年3月期	12,916,600株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	852,565株	29年3月期	852,565株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	12,064,461株	29年3月期2Q	11,994,154株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府・日銀による経済対策や金融政策の効果から雇用の改善などを含め、緩やかな拡大を続けております。また、世界経済においては、一部地域における不安定化などが起きていますが、総じて緩やかな回復基調で推移していると判断しております。

当社は昨年10月『永続的な企業の存続に必要な事業ポートフォリオの変革、SHOPLISTをファストファッションEC分野を代表するブランドへ』という方針を掲げ、平成28年11月にエレメンタルストーリーを除く全てのゲームタイトルに関する事業とそれに関わる人材に関して、会社分割及び株式譲渡を実施し、中核事業をゲーム分野からEC分野へ事業構造を転換いたしました。

当社グループの事業領域である国内BtoCのEC（消費者向け電子商取引）市場は2016年に15兆円に達しており（注1）、また今後更に拡大し、2021年度には25.6兆円に達する見込みと言われております（注2）。ファストファッション通販「SHOPLIST.com by CROOZ」（以下、SHOPLIST）は、まさにその市場拡大とともに成長を続けております。

このような状況下、SHOPLIST事業（注3）は、SHOPLISTが成長を継続しており、新規事業として平成24年7月にサービスを開始して5年目となる前連結会計年度の売上高は190億円を超えました。当第2四半期連結累計期間においても、その売上高は101億円（前年同累計期間比9.4%増）と拡大を継続しております。今後も、継続的な大規模プロモーションや物流強化、新規購入者のリピート率向上などを通じて、事業規模拡大・サービス向上に注力してまいります。

当社はSHOPLISTを中心としたEC関連領域に人材や資金等の経営資源を集中させ、集客力・販売チャネル・ブランディング強化を行うことで、SHOPLIST事業の成長に注力し、企業価値の向上に努めます。また当社グループとしても、CROOZの資産を活かした新規事業やM&Aにも積極的に挑戦し、第二・第三の事業の柱を創出してまいります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高11,833,768千円（前年同四半期比25.3%減）、営業利益431,448千円（前年同四半期比70.8%減）、経常利益440,873千円（前年同四半期比70.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益220,677千円（前年同四半期比78.9%減）となりました。

なお、当期はインターネットコンテンツ事業（ゲーム事業）の大半を売却し、SHOPLISTを中心としたEC事業に事業構造を変革して迎える初めての期となります。前期の実績として、インターネットコンテンツ事業は連結売上高と営業利益の大きなウェイトを占めており、事業構造を変革した今期業績は、対前期比では大きな変化が発生しております。投資家の皆様におかれましては、対前年同期比における業績比較などにおいては上記の事実をご認識の上、十分にご注意をいただければと思います。

（注1）平成29年4月24日経済産業省「平成28年度我が国経済社会の情報化・サービス化に係る基盤整備（電子商取引に関する市場調査）」を基に記載しております。

（注2）株式会社CyberZ及び株式会社シード・プランニングの共同調査情報を基に記載しております。

（注3）「SHOPLIST事業」につきましては、前連結会計年度まで「インターネットコマース事業」に含まれていましたが、事業規模の拡大により経営における重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。これに伴い、SHOPLIST事業以外のインターネットコマース事業については、量的な重要性が乏しいことから報告セグメントに含めず、「その他」の区分に含めて記載する方法に変更しております。なお、第1四半期連結会計期間より、新たな報告セグメントの区分に基づいて開示を行っており、前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組替えた数値で比較しております。

セグメントごとの業績の状況を示すと次のとおりであります。

①SHOPLIST事業

売上高は10,119,704千円（前年同四半期比9.4%増）、セグメント利益は501,374千円（前年同四半期比31.4%増）となりました。

②インターネットコンテンツ事業

売上高は1,483,176千円（前年同四半期比77.4%減）、セグメント利益は273,155千円（前年同四半期比75.9%減）となりました。

③その他事業

売上高は230,887千円（前年同四半期比359.7%増）、セグメント損失は343,082千円（前年同四半期はセグメント損失38,649千円）となりました。

なお、インターネットコンテンツ事業については、平成28年11月にエレメンタルストーリーを除く全てのゲームタイトルに関する事業とそれに関わる人材に関して、会社分割及び株式譲渡を実施したことに伴い、売上高及びセグメント利益が減少しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、のれんの増加83,888千円があった一方で、現金及び預金の減少480,382千円及び売掛金の減少98,640千円などにより、15,854,893千円（前連結会計年度末比414,437千円の減少）となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、買掛金の増加206,199千円があった一方で、未払金の減少236,296千円及び未払法人税等の減少435,792千円などにより、3,627,531千円（前連結会計年度末比560,609千円の減少）となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、配当金の支払による減少180,960千円及び親会社株主に帰属する四半期純利益220,677千円の計上による増加などにより、12,227,361千円（前連結会計年度末比146,171千円の増加）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く事業環境の変化は大きく、新規性の高い事業や新たなビジネスにも積極的に取り組んでいることから、当社グループの業績の見通しについて、適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、業績予想の開示を見合わせます。

なお、今後の当社グループの事業環境や事業進捗の動向を踏まえ、合理的な算定が可能と判断した場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,329,433	10,849,051
売掛金	1,623,403	1,524,763
その他	507,902	539,701
流動資産合計	13,460,739	12,913,515
固定資産		
有形固定資産	511,656	480,187
無形固定資産		
ソフトウェア	49,775	106,764
のれん	1,159,004	1,242,893
その他	2,001	1,833
無形固定資産合計	1,210,781	1,351,491
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,179,455	1,202,999
貸倒引当金	△93,301	△93,301
投資その他の資産合計	1,086,153	1,109,698
固定資産合計	2,808,591	2,941,377
資産合計	16,269,330	15,854,893
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,768,345	1,974,544
未払金	841,721	605,425
未払法人税等	668,119	232,327
ポイント引当金	79,774	127,505
その他	470,785	215,834
流動負債合計	3,828,746	3,155,637
固定負債		
長期末払金	359,394	359,394
その他	—	112,500
固定負債合計	359,394	471,894
負債合計	4,188,140	3,627,531
純資産の部		
株主資本		
資本金	449,465	449,595
資本剰余金	1,294,907	1,383,844
利益剰余金	10,775,262	10,814,979
自己株式	△507,483	△507,483
株主資本合計	12,012,151	12,140,936
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,321	26,777
為替換算調整勘定	4,537	4,660
その他の包括利益累計額合計	29,858	31,437
新株予約権	17,755	17,404
非支配株主持分	21,423	37,582
純資産合計	12,081,189	12,227,361
負債純資産合計	16,269,330	15,854,893

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	15,848,081	11,833,768
売上原価	10,972,925	8,686,116
売上総利益	4,875,156	3,147,652
販売費及び一般管理費	3,399,907	2,716,204
営業利益	1,475,248	431,448
営業外収益		
持分法による投資利益	21,948	12,849
為替差益	—	2,357
その他	2,732	5,217
営業外収益合計	24,681	20,425
営業外費用		
投資事業組合運用損	4,155	4,890
為替差損	5,540	—
貸倒引当金繰入額	4,000	—
支払和解金	—	5,163
その他	906	946
営業外費用合計	14,601	10,999
経常利益	1,485,327	440,873
特別利益		
受取和解金	—	30,000
新株予約権戻入益	1,721	420
特別利益合計	1,721	30,420
特別損失		
固定資産除却損	364	6,281
減損損失	—	46,834
関係会社株式評価損	9,000	—
特別損失合計	9,364	53,116
税金等調整前四半期純利益	1,477,685	418,177
法人税、住民税及び事業税	438,493	210,812
法人税等調整額	△13,019	△8,479
法人税等合計	425,473	202,333
四半期純利益	1,052,211	215,843
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	8,562	△4,834
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,043,648	220,677

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	1,052,211	215,843
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,192	1,455
為替換算調整勘定	△3,051	123
その他の包括利益合計	△14,244	1,579
四半期包括利益	1,037,966	217,422
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,029,404	222,257
非支配株主に係る四半期包括利益	8,562	△4,834

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,477,685	418,177
減価償却費	581,726	62,047
減損損失	—	46,834
のれん償却額	—	115,513
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4,000	—
ポイント引当金の増減額(△は減少)	12,446	47,730
賞与引当金の増減額(△は減少)	△19,868	—
持分法による投資損益(△は益)	△21,948	△12,849
為替差損益(△は益)	2,053	△524
投資事業組合運用損益(△は益)	4,155	4,890
受取和解金	—	△30,000
支払和解金	—	5,163
新株予約権戻入益	△1,721	△420
固定資産除却損	364	6,281
関係会社株式評価損	9,000	—
売上債権の増減額(△は増加)	349,524	105,964
仕入債務の増減額(△は減少)	285,013	187,826
未払金の増減額(△は減少)	△100,693	△186,314
その他の資産の増減額(△は増加)	51,819	111,816
その他の負債の増減額(△は減少)	14,941	△133,690
その他	7,468	527
小計	2,655,965	748,972
利息の受取額	59	68
利息の支払額	△494	△1,097
和解金の受取額	—	30,000
和解金の支払額	—	△5,163
法人税等の支払額	△655,585	△610,150
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,999,945	162,630
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△33,382	△300,303
無形固定資産の取得による支出	△115,654	△4,454
投資事業組合からの分配による収入	—	9,777
投資有価証券の取得による支出	△118,126	△11,273
投資有価証券の売却による収入	—	900
貸付けによる支出	—	△100,000
敷金及び保証金の差入による支出	△13,670	△115,452
敷金及び保証金の回収による収入	150	27,190
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△95,718
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	30,186	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△250,496	△589,333
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	60,000	38,300
短期借入金の返済による支出	△30,000	△3,300
長期借入れによる収入	—	150,000
長期借入金の返済による支出	△3,000	△168,887
社債の償還による支出	△50,000	—
新株予約権の行使による新株発行による収入	12,525	250
新株予約権の発行による収入	—	79
配当金の支払額	△180,239	△180,412
非支配株主からの払込みによる収入	—	109,800
財務活動によるキャッシュ・フロー	△190,714	△54,170
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,073	490
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,553,661	△480,382
現金及び現金同等物の期首残高	7,377,684	11,329,433
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,931,345	10,849,051

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

取得による企業結合

当社は平成29年9月19日開催の取締役会において、株式会社エモーシブ（以下、エモーシブ）の株式を取得し、子会社化することを決議し、平成29年10月19日にエモーシブの株式を取得いたしました。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及び事業の内容

① 被取得企業の名称

株式会社エモーシブ

② 事業内容

オンラインファッションスタイリングサービス等の運営

(2) 企業結合を行う主な理由

新規チャレンジのための投資の一環として、オンラインファッションスタイリングサービス等を実施するエモーシブの株式を取得することといたしました。

(3) 企業結合日

平成29年10月19日

(4) 企業結合の法的形式

株式取得

(5) 結合後企業の名称

変更はありません。

(6) 取得した議決権比率

51.0%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として、株式を取得したことによるものです。

2. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

株式譲渡契約の定めにより、当社は秘密保持義務を負っていることから非開示とさせていただきます。

3. 主要な取得関連費用の内容及び金額

現時点では確定しておりません。

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。